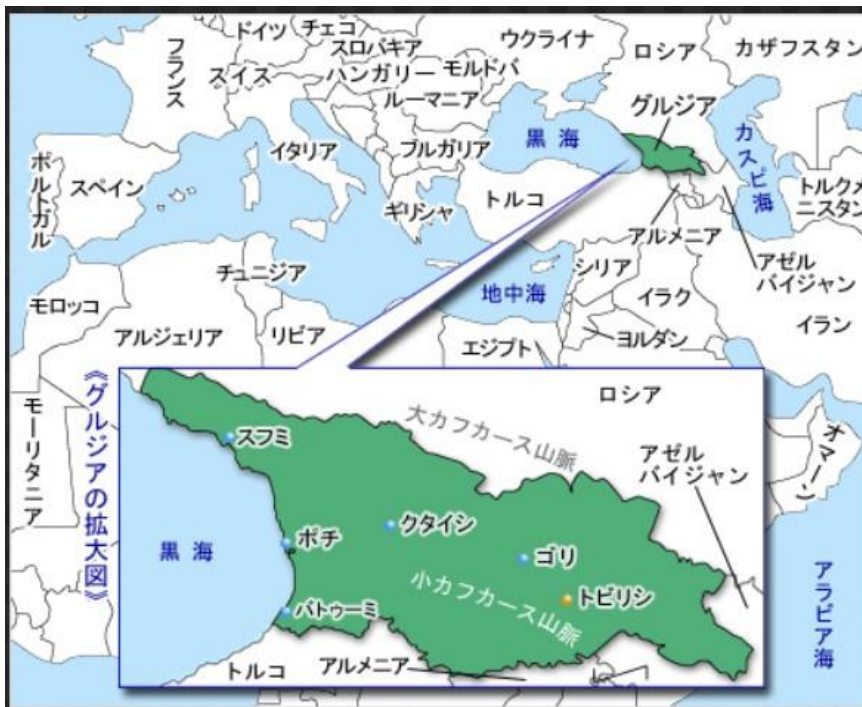


東欧ジョージアの議会選挙（581号）

2024年 11月 石館

東欧ジョージアで26日、議会(定数150)選挙の投開票があった。イラクリコバヒゼ首相は、選挙結果を“圧勝”と歓迎するとともに、不正選挙や暴力行為の疑惑を否定した。ジョージアの選挙管理委員会が発表した公式の暫定結果では、与党“ジョージアの夢”は89議席を獲得。野党は61議席だったという。“ジョージアの夢”は過半数を得たものの、同党が望むような憲法改正や、野党の活動禁止などを実施するには不足している



グルジア（ジョージア）の拡大図

野党4派は今回の選挙結果を認めず、不正選挙だと非難。与党が票を盗んだと主張している。

野党4派のうち“変革のための連合”と統一国民運動

“の2派議会をボイコットすると表明するとしている。

親欧米派のサロメ・ズラビシビリ大統領は、野党指導者に囲まれて記者会見し、投票が“完全に改竄”されたと非難。今回の投票は認めないと述べ、ロシアが選挙に介入したと主張した。大統領は更に野党指導者らに、28日に議会議事堂の外に集まるように呼び掛けた。選管発表によると、コバヒゼ首相が率いる与党“ジョージアの夢”が得票率54%を獲得した。しかし野党系テレビ局が西側の調査

会社を使って実施した2種類の出口調査は、野党のしやうりを予想。”ジョージアの夢“の得票率は54%でなく、42%になると見通し示していた。

国際選挙監視団は、多数の投票違反が選挙結果に影響を与えた可能性があるとして指摘し、第三者による調査を呼び掛けた。アメリカとEUはこれを支持している。

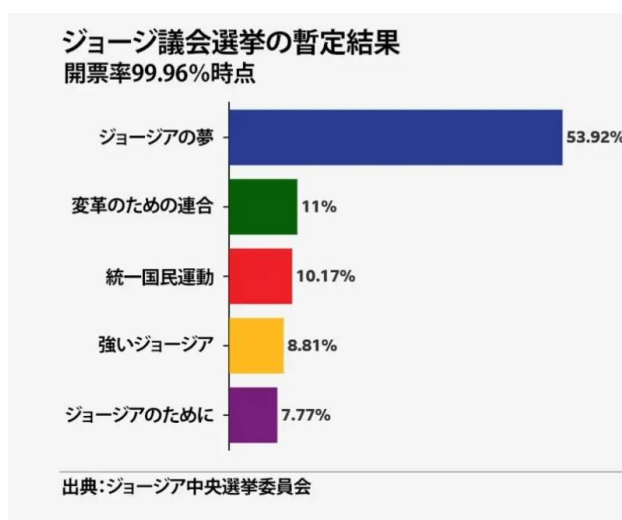


ジョージア議会選、大統領は承認せず 国民に抗議行動呼びかけ...

欧州議会のミッシェル議長は27日夜の声明で“不正の疑いは真摯に解明し、対応しなくてはならない”と述べ、迅速かつ透明性のある独立調査を求めた。アメリカのブリンケン国務長官は“法の支配を尊重するようジョージア政府に呼びかけた。

た。

一連の批判についてコバヒセ首相はBBCのインタビューで“不規則な事態は、あらゆる場所で、どの国でも起きる”と述べた。



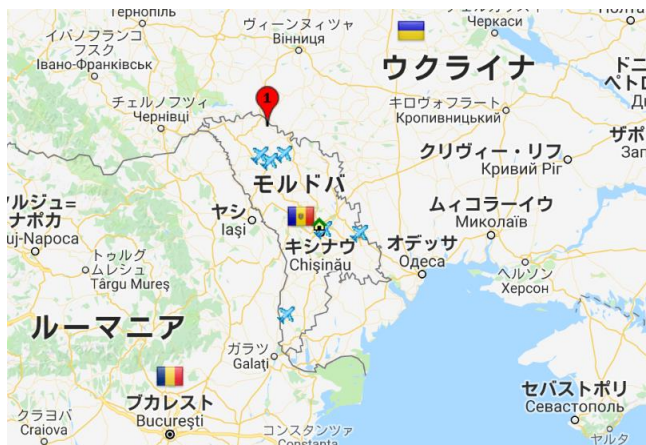
こうした中、ロシア寄りの姿勢で知られるハンガリーのオルバン首相がジョージアを訪問し、29日コバヒセ首相と会談した。

会談後の記者会見でオルバン首相は“国際機関の評価などを見たが、この選挙が公正で民主的な選挙だったということに誰も疑問を呈していない”と述べ、選挙は公正に行

われたとの認識を示した。現在、ハンガリーは、EU議長国を務めているが、オルバン首相のジョージア訪問についてEU側は“EUからの委任を受けたもので

はない”と説明しており、オルバン首相の発言はEUを代表したものではないし、何の権限も与えられていないとしている。

最近の東欧地区の議会選やEU加盟の国民投票などで、何とかロシア離れを防ごうと、ロシアによる選挙や投票への介入が激しくなっている。



ウクライナの隣国モルドバでは10月20日、EU加盟の是非を問う国民投票と大統領選挙が実施された、

EU加盟の是非を問う国民投票では、賛成が50.16%反対、反対が49.84%。国民投票は選挙人名簿

登録者数の3分の1以上が投票し、うち過半数が賛成票を投じれば承認される。憲法裁判所が10日以内に国民投票の有効性について判決を下すが、条件を満たしていることからEU加盟の方針を憲法に盛り込むことが承認される見込みだ。



現職のサンドゥ大統領

大統領選では候補者11人のいずれもが過半数の票を獲得できず、決選投票に持ち越し。決選投票では、現職大統領で行動連帯党のサンドゥ氏と次点の親ロシア派で元検事総長、社会党から支持を得たストヤノグロ

東欧モルドバ情勢が緊迫 ロシアの揺さぶりで深まる分断 - 日本 ...

氏が争う。大統領選の決選投票は11月3日に実施される予定。